

議案—4. 平成29年度 活動計画 (案)

1. はじめに

今年度も、「子ども、高齢者など弱者の支見守り支援活動」、「防災・防犯の安全活動」及び「ネットワーク活動推進のための活動」を進めます。

活動に当たっては、ネットワーク内での議論の深掘りをし、効果的な活動の在り方を探り、また地域住民の協力を得て“近所同士の程よい緩やかな付き合いの中で、声を掛けたり気に掛けたりできる助け合いのある街づくり”を進めたい。

1. 子ども支援部 活動計画 (案)

今年は、28年度計画に準じた項目を確り活動したい。

又、全部員に年度当初に提出頂く計画書の内容に確実性を求めている。

(1) 学校・PTA支援活動

運動会・ハザー・マラソン会には、例年通り確り協力すると共に本年は、本会創立時のPTA事業への協力を進めたい(例 ベルマークの収集)。

(2) 防災・防犯支援活動

今年度も市原市計画の防災訓練に従い、子ども支援部として与えられた項目を応援協力をしていきたい。

(3) 安心生活見守り支援活動

地域別会議の充実に関心掛け、桜台・椎の木台の見守り員の充実・希望者の増に努めたい。

(4) 歳末助け合い運動の実施

8月に「クリスマスコンサート委員会」なる小役員会を立ち上げ、企画・運営について打ち合わせを進めたい。

3. 安全部 活動計画 (案)

(1) 市原市総合防災訓練における南小学校会場訓練内容の検討

(2) 南小学校防災・防犯関連行事への対応

(3) 各町会の「安否確認シート」を活用した訓練と安否確認方式の見直し推進

①「避難行動要支援者」情報を取込んだ「安否確認シート」の整備

②各町会における安否確認を、現行の一時避難場所集合による確認方法から班別・全員確認方法への検討

(4) 南小学校「防災教室」の活用と展示品のフォロー

4. 総務部 活動計画 (案)

- (1) 会員相互の連携・協働を深める。
 - ① 研修会、懇親会の開催（頻度を上げる；2～3回）＊18年1月31日（水）予定
 - ② 安心訪問グループとの交流を深める
- (2) 地域情報の共有化に努める。
 - ① 「みなみかぜ」の発行（年4回）
- (3) 先生・保護者及び学校支援ボランティアとの交流を深める。
 - ① 保護者（PTA）に対して、NW活動の内容をアピールしていく。
- (4) 防災・防犯について学ぶ
 - ① 「市原市総合防災訓練」（9月3日）、「千葉県災害対策コーディネーター養成講座」（6月）、「地区避難所運営訓練」（11月10日）に積極的に参加する。

5. 「安心生活見守り支援事業」 活動計画 (案) {安心訪問グループ}

- (1) 安心訪問の質の向上を図ろう。
 - ① 課題解決の手順を考えよう。
民生委員、地域包括支援センターとの連携強化を。
 - ② 魅力ある訪問方法を考えよう。
見守り活動の未加入者目線を探ろう。
 - ③ 見守り・支え合いの地域づくりに寄与しよう。
- (2) 隠れた訪問希望者を顕在化しよう（声かけを）。
 - ① 誰もが“見守り・見守られる”人に成ろう。